2024.12.10

株式会社サンケイアイ

【湘南国際村めぐりの森育樹祭】
体験レポート　5

11月10日(日)【第27回湘南国際村めぐりの森 育樹祭】が開催され、サンケイアイ有志で参加しました！

サンケイアイは昨年から運営グループとしても参加しています。
今回も育樹祭の取材記録の撮影を担当いたしました。撮影チームと共に、秋の育樹祭を体験しました。

当日の天候は曇り。夜から雨の予報も、開会式の途中からパラパラと雨が降り、体感的には、かなり厳しい冷え込みでした。

あいにくの天候でしたが、参加者は定員数を超える219名が集まり、楽しく育樹活動ができました。作業が終わる頃には雨は止み、青空も見えました。

開会式では10月21日付で≪湘南国際村めぐりの森≫ が「OECM」の自然共生サイトに認定された、と報告がありました。

主催者の非営利型一般社団法人 Silva（シルワ）（以下、Silva（シルワ））は環境省が推進している「30by30」プロジェクトのアライアンスメンバーに登録されており、湘南国際村めぐりの森が自然共生サイトへ登録されることを悲願として、地主である神奈川県と2021年から交渉を続けてきました。

今回、湘南国際村めぐりの森が自然共生サイトに認定されたことで、日本から世界へと国際的に情報を発信することができます。

また、10月13日（日）にはG20 Global Land Initiative 関連イベント『宮脇メソッドを学ぼう植樹祭』～9000年続く森をめぐりの森でつくろう!～が開催されました。（サンケイアイが撮影を担当しました。後日YouTubeにて公開予定です！）

いま、地球温暖化や異常気象が年々深刻化しています。私たち人間にとって、自然はなくてはなりません。
開会式で葉山小学校の小学生が書いた感想文の紹介がありましたが、森づくりの大切さを後世へとつないでいくことの重要性を改めて感じました。

国際的なイベントの実施や、未来を担う子どもたちへ森の再生のノウハウを引き継いでいるSilva（シルワ）の皆さんの活動を私たちも応援しています。

※30by30とは「2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上の面積を保全する」という世界的な目標です。
日本では2021年時点で陸地の20.5%・海域の13.3%が保護地として保全されています。

※ OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）
国の保護地域以外の、民間・企業が管理する緑地や漁業管理地域等の生物多様性保全に資する地域。

※自然共生サイト
民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域。

※環境省　30by30について
https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/

シルワホームページより
https://www.silva.or.jp/

開会式を終え、班ごとに育樹をする場所へ移動し、作業開始です。
2022年11月6日に私たちが初めて苗木を植えたところが、今回の作業場となりました。

育樹作業は大きく分けて【風の草刈り】、【マルチング】、【補植】です。
『植樹をしてから2、3年の期間中、苗木の生長を妨げる周辺の草を手折り、苗木の生長を手助けする』作業です。

風の草刈りとは、草を根っこから引き抜くのではなく、道具は使用せず自らの手を使って、草の茎を折る作業になります。草の茎を途中でポキっと折って、草の根はそのまま残します。

Silva(シルワ)の植生復元は【ある命はすべて残すし、意味がある】というもので、
周辺の草をすべて排除する訳ではなく、その場に生かしつつ苗木の生長を妨げないようにするというのが育樹の目的となります。

2023年11月12日

2024年11月10日

歩きながら植樹地を見た時には、あまり変化がないように見えましたが、私たちが初めて植樹をした場所へ向かっていくと、一年前と比べ、苗木が大きく生長していることがよくわかります。
久しぶりに自分の手で植えた苗木の生長を見ることができてうれしくなり、また生長の早さにとても驚きました 。今後の生長がますます楽しみです。

育樹作業ですが、斜面を登るにも一苦労。木々をかき分けながら斜面を登りました。植えた苗木を間違えて折らないよう、また自分たちで踏まないように気を付けて丁寧に草の茎を折っていきます。折った草は、土壌の栄養となります。

生長した苗木に、草の蔦がぐるぐると巻きついている苗木も多くあり、簡単には草を折ることができない場面もありました。このような絡まった草を取り除いて手入れすることで、苗木は日光を浴び、生長できるのです。

風の草刈りの後は、土壌の保温・保湿のために、枯草や枝で【マルチング】を行います。
枯草や枝がたくさん置かれた山から自分が持てる分を運び、土壌に置いていきます。斜面に沿って、低いところから高いところへ、土を覆うように枯草・枝をすき間なく、横に倒して置きます。枯草を横に置くことで、雨水が土に染み込みやすくなります。
雨が降る中、枯草と枝を移動させるのは大変でしたが、苗木の生長のためには欠かせません。皆で協力し合い、作業を行いました。

マルチングを終え、最後に【補植】をします。補植は、枯れて空いたところに、再び苗木を植える作業です。
マルチングのため置いた枯草や枝を一旦どけてから、苗木を植えます。
「混植・密植方式」という方法で、同じ種類の苗木が隣同士に並ばないようにします。異なる種類の苗木を競争させて自然淘汰の厳しさを利用し、より強い木々が育つようにし、森の再生にかかる時間を早めます。

苗木の生長と森の再生を願い心を込めて植樹をし、今回の育樹作業を終えました。

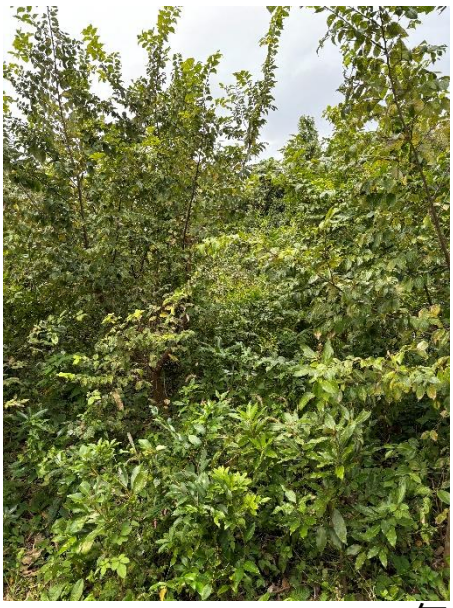
🌳これまでの生長記録🌳
（2022年～2024年）

2022年11月6日

2023年5月14日

2023年11月12日

2024年5月12日



2024年11月10日

今回が初参加のメンバーにも育樹だけでなく、植樹の体験をしてもらい「楽しかった」と言ってもらうことができました。

あいにくの天気でしたが、緑に囲まれながら身体を動かし、心身ともにリフレッシュできました。

初めて植樹活動に参加をしてから2年が経ちますが、今後も森の再生のお手伝いができたらと思います。

体験してみると、植樹はとても楽しい取り組みです！みなさんもSDGs活動として、ぜひ植樹体験はいかがでしょうか？

11月10日の様子を後日YouTubeにて公開予定です！
お時間のある時に、ぜひご覧ください。

次回の開催は、2025年春を予定しています。

【湘南国際村めぐりの森植樹祭】は年に2回開催されます。
このレポートを見て、ご興味を持たれた方、次回の参加を希望される方は
主催者：**非営利型一般社団法人 Silva（シルワ）**のホームページをご確認ください。
https://www.silva.or.jp/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【お問合わせ】
株式会社サンケイアイ【SDGsプロジェクトチーム】
https://www.sankei-eye.co.jp/contact/
（当社HPよりアクセスをお願い致します）